

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	マンションベランダからの救助活動における隊員の思い込み。
3. 体験した事例の中心的要素	マンション(11階建て)の10階部分で室内閉じ込め事故が発生。玄関は施錠されており呼び掛けにも応答は無く、隣室ベランダからの進入を試みるも両隣室とも留守である。さらに隣室を確認していくと三軒隣の住人が在宅していたため三軒隣から現場宅のベランダへ向う。その際、隊員が現場宅の隣室を現場と思い込みガラスの破壊準備に取り掛かるも、破壊する直前に再度現場宅の確認を行い間違いに気付く。
4. 体験した事例の原因・理由	先着の消防隊により三軒隣の住人に協力を得ていたが二軒隣の住人との誤った情報が流れており、マンションの10階部分に活動隊員が集中していたため隊員は確認せずに二軒隣を現場と思い込みガラスの破壊準備を行なった。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年9月20日 午後8時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋内：マンション(11階建て)の10階部分の一室
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：現場でない一室のガラスを割りそうになった。
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	救出準備作業
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[25]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[43]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[12] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	先着隊	三軒隣の住人に協力を得ていたが、二軒隣と思い込み後着隊へ情報を流す。	
経過2	後着隊	二軒隣との誤った情報を確認せず救助活動を進める。	
経過3	当事者A・B	二軒隣と思い込み、誤った現場宅へ向う。	
経過4	当事者A・B	ガラスの破壊準備し、再度現場宅の確認を要請する。	
経過5	指揮隊	再度玄関側から現場を確認し、二軒隣ではなく三軒隣と判明する。	
経過6	当事者A・B	さらに一部屋隣の現場宅へ向い救助を行なう。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があった。指揮者が適切に指示した。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

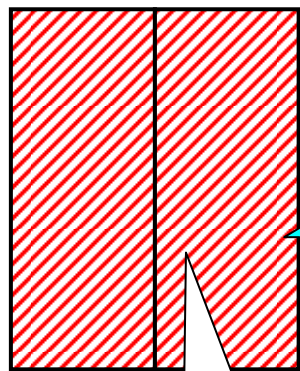
○活動環境の対策について

--

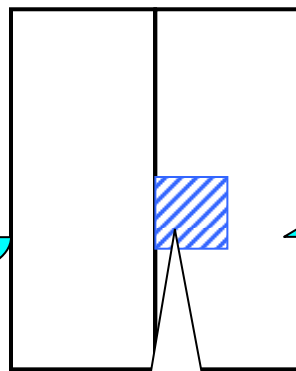
○指揮・情報伝達の対策について

--

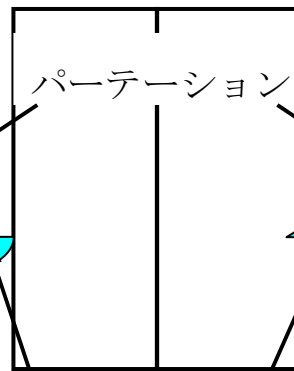
10階



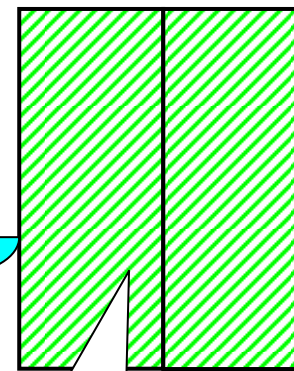
実際の現場宅



破壊準備箇所



パーティション



協力を得た三軒隣宅

9階

